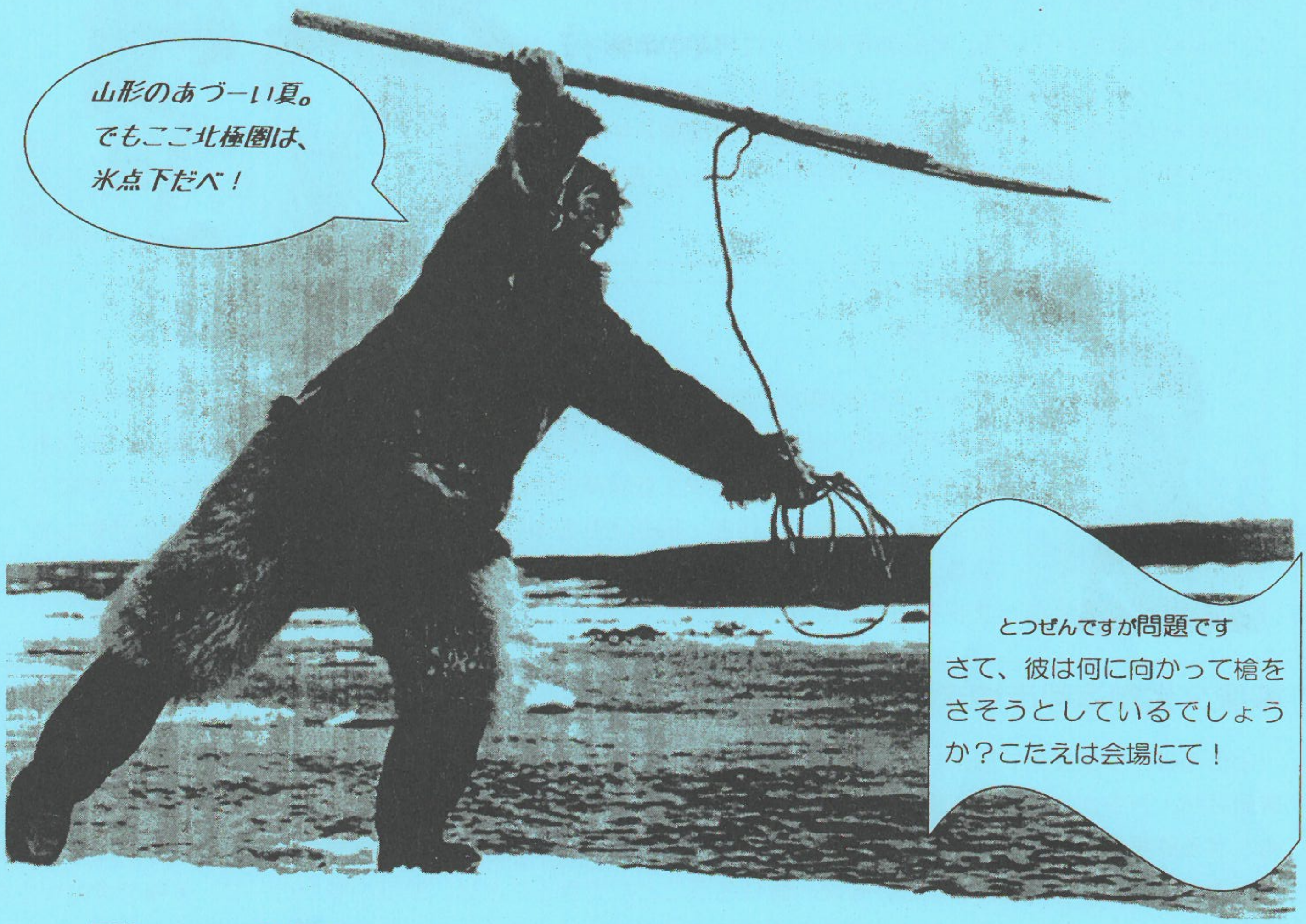
映像文化創造都市事業　第１回やまがた市民映画学校
みんなで楽しむライヴな映画×音楽

極北のナヌーク 映画とヴァイオリン演奏の共演



山形のあづーい夏。
でもここ北極圏は、
氷点下だべ！

とつぜんですが問題です
さて、彼は何に向かって槍をさそうとしているでしょうか？こたえは会場にて！

7月17日［日］14：00～（開場 13：30～）

※上映後、加藤到氏（東北芸術工科大学映像学科教授）による映画のお話があります。

霞城セントラル３階　保健センター視聴覚室

入場無料！

『極北のナヌーク』は、カナダのイヌイット族のナヌーク一家の生活を何年もかけて記録した、1922 年に製作された古一い映画です。100 年も前の北極でアザラシを捕獲する様子や氷の家をつくる様子など、見どころがたくさんあり、映画の歴史を知る上でも貴重な作品です。

この作品が発表された当時は、映画はサイレントで上映されていました。今回は、100 年前の映画上映を再現すべく、新進気鋭の作曲・編曲家でヴァイオリニストの鈴木崇さんの、映像に合わせた生演奏がおこなわれます！

○問い合わせ：山形市役所文化振興課　山形市旅籠町 2-3-25　電話　023-641-1212（内線 638、639）
○Facebook, twitter：映像文化創造都市やまがた
○主催：山形市、山形市創造都市推進協議会
○協力：認定 NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭、やまがた市民映画学校運営ボランティアスタッフ

極北のナヌーク / ロバート・フラハティ
1922 / モノクロ / 16mm / 50分

カナダのアンガヴァ半島に暮らすイヌイット、ナヌークとその家族たちの生活を15カ月かけて撮影。極寒の地の厳しい環境での逞しくも心豊かな生活が、映像情緒たっぷり記録されている。映画黎明期の、世界初の長編ドキュメンタリー映画と言われている貴重な1本。今回は山形市が所蔵していた、1989年第1回山形国際ドキュメンタリー映画祭で公開された16mmフィルム50分の改定版で上映。

鈴木崇

1987年山形県山形市生まれ。山形県立北高等学校音楽科卒業、北海道教育大学芸術課程音楽コース作曲専攻卒業。これまで作曲を藤澤孚、南聡、二橋潤一、佐々木茂の各氏に、ソルフェージュを藤澤孚氏に師事。2010年から、県内の小中学校で音楽を教える傍ら、作曲・編曲活動を中心に講演会や演奏活動など幅広く活動している。米沢フィルハーモニー管弦楽団2ndヴァイオリン。米沢市の伝国の杜オーケストラ専属アレンジャーとしてファミリーコンサートの編曲などを行っている。

映像文化創造都市やまがた　とは？

山形市は、映像文化に恵まれたまちです。映画館では多様な映画に触れることができ、映画を学べる大学や映像研究所、ドキュメンタリーフィルムライブラリーなども存在します。山形国際ドキュメンタリー映画祭をはじめとする映画祭も開催されていて、映画祭期間中は、日本だけでなく、海外からもたくさんの方が山形を訪ねます。みんなで観て、共有し、感じ、考え、語り合うことができることは、映画の魅力の一つ。多様な世界や生き方を示してくれ、時に、国、言葉、考え方の違いを超えてわかりあうツールとなります。

その映画という文化資産は、伝統工芸やものづくり、アートなど創造産業にもつなげていくことができ、山形の新しいまちづくりをすすめていくために、山形市は映像文化創造都市を目指しています。

その創造都市事業の一つとして、やまがた市民映画学校を、市民がより映画について深めるきっかけをつくり、映画について語り合うために、開校することになりました。第1回目となる今回の上映は、ドキュメンタリーの元祖とよばれる伝説的な映画『極北のナヌーク』を、スペシャルミュージック付きで上映。サイレント映画と生演奏を楽しむという、古くて新しい映画上映のスタイルにチャレンジします。

☞ 映像文化創造都市やまがたについて詳しくは　https://www.creative-yamagata.jp

『やまがた市民映画学校』運営ボランティアスタッフ募集！！

やまがた市民映画学校では、企画・運営を一緒にやってくださる運営スタッフを募集します。わたしたちと一緒に映画上映をしながら、映画と山形の可能性を考えませんか？

○活動内容：映画上映の企画、運営、広報などを行います。面白い映画や仲間と出会えるチャンス！
○活動時期：平成28年7月から平成29年3月まで、月1回程度のミーティングと映画上映会運営
○申込：別紙登録用紙をご記入の上、山形市文化振興課までお越しください
○連絡先：山形市役所　文化振興課　　電話：023-641-1212（内線638、639）